



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 16

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 16. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 16: 52-55

ISSUE DATE:

1954-01-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186866>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会  
水族館 月 報

No. 16

1953. 12月(1月4日)

昨年の12月に比べてみると、種々の突で施設が充実に来ている。停電があつても補助エンジンがしつかり整備してあるので断水の心配はない。電熱装置を2ヶ所に取りつけたので、小型熱帯魚と亀類の越冬ができるようになり、水族館開設以来、はじめてツノダシノマノミ、スノザラシ、アミモンガラ等が水族館で新春を迎える事となった。しかし、この電熱装置には、2つの難点がある。オーは海水中でヒーターの腐蝕が甚しい事で、3/4に亀用のヒーターの個中の1個は取換えを要する状態である。オスは、ヒーターを使用中は電圧が降下して、蛍光灯が消える事である。この突に対しては、新春を待つて、トランスを設備することになっている。——— と言うような状態で、この暮は平穩に送る事が出来た。

水槽の充実に、満足に近い状態である。これで「アカアシガニ」を投入すれば、冬の水槽は満点と言いたいところである。既に9日「アカアシガニ」の依頼に南部町まで出かけてあるが、現在ノ匹が生きているのみで、それも暮の天候が思わしくなかったため、受領に出かける事が出来なかった。

これで、一同も1年老いるわけだが、水族館の老朽は全く著しい。水槽のガラスを保っている木框にフナフイムシが喰入って、洩水の原因を作っているのが判つて驚いたが、全くこれなども寄る年波と言うところだろう。やがて大改造の必要が目に見えて来た。

では、各位には、御機嫌よろしく、御迎春の程を、館員や魚族と共に心よりお祈り申し上げます。

◎ 12月の入場者数

水族館発売切符数

大人	1633	} 計 2722	} 合計 7409 (累計 154489)
小人	66		
団体	1223		
明光バス発売切符数		} 計 4487	
大人	4448		
小人	39		
無料入場者		156	(累計 1182)

◎ 12月の収入	(累計)
観覧券売上金	142,930.00 2,730,116.00
雑収入	160.00 27,798.00
11月よりの繰越金	53,331.00
計	196,421.00

◎ 12月の支出  
一般経費

費目別	金額	累計	備考
人件費	46,400.00	442,148.00	
光熱費	11,601.00	18,585.00	
消耗品費	2,570.00	28,115.00	
備品費	1,380.00	16,425.00	
修理費	5,825.00	135,199.00	
材料費	13,830.00	105,645.00	
厚生費	1,055.00	4,855.00	
旅費	500.00	970.00	
諸税公課	700.00	48,743.00	
雑費	720.00	14,012.50	
通信運搬費	1,674.00	14,572.50	
契約金	—	163,300.00	
合計	86,255.00	1,444,480.00	

水族館設備改善費

項目	金額	累計	備考
便所建築費	—	170,480.00	
電話室設備	—	3,515.00	
花壇設置	—	6,460.00	
博物館前広場 芝生工事	—	36,575.00	
オオカメ標本費	—	40,000.00	
博物館前広場 水移設工事	—	21,500.00	
博物館前広場 水移設工事	—	13,160.00	
支柱、ベンチ	—	8,900.00	
No.22水移設工事 後援会費	900.00	50,738.00	
合計	900.00	351,378.00	

実験所改善費

費目別	金額	累計	備考
人件費	6,783.00	41,777.00	1/給養費 研究費

印刷費	—	500,000.00	
備品費	—	173,100.00	
設備修理費	—	23,000.00	
特別費	—	50,000.00	
合計	6,700.00	546,100.00	

### 博物館費

費目別	金額	累計	備考
人件費	2,850.00	51,975.00	
備品費	1,450.00	36,093.00	1樓平租
修理費	2,400.00	15,203.00	蛍光灯及び取付け
消耗品費	—	2,111.00	
旅費	—	240.00	
通信運搬費	—	40.00	
合計	16,700.00	106,242.00	

### 積立金

費目別	金額	引出高	現在高	備考
バス・ツツ資金	2,000.00		86,000.00	
賞与資金	7,000.00	11,966.00	14,034.00	年末賞与金
厚生資金	1,500.00	5,298.00	1,352.00	忘年会費用
災害時予備金	10,000.00		71,321.50	
会議費積立金	—		40,000.00	
水族館活動料 積立金	—			
特別予備金	23,520.00		223,510.00	
合計	49,320.00	77,214.00	441,322.50	

### 支出合計

一般経費	81,255.00
水族館設備改善費	910.00
実験所改善費	6,700.00
博物館費	16,700.00
積立金	49,320.00
計	159,950.00

1月に繰越( ) 36,463.00

### ◎12月の気象

	上旬	中旬	下旬
晴大日数(日)	4	1	2
気温	4.0 — 17.7 13.7	11.4 — 11.1 13.2	9.0 — 14.3 11.7
水温	16.0 — 16.0 16.1	15.5 — 16.0 16.0	13.8 — 16.5 15.2

組1 { 水温は南水槽室  
水温はNo.14水槽 } で10時に測定

⑩ 12月の魚

- (1).....10日 イトヒキアジが持込まれたが2日にて死す。
- (2).....10日 モンガラアハギ 死亡。
- (3).....12日 ツノナシ 2匹が ツボアミで捕れた。  
ミレはNo.28水槽で元気にしている。
- (4).....27日 フリゴ尾を購入。No.24水槽に放つ。
- (5).....29日 オハジコ死亡。  
Nos. 26~28 水槽に エライラが少数発生した。
- (6).....11月30日 隔離した インガキダイは元氣回復し、No.24水槽に戻された。

時 記 録

⑪ 1952年度との比較

	1952	1953
入 場 者	5243	7409
売 上 金	100,138.00	142,930.00
支 出 金	502,658.00	159,958.00

- ⑫ 30日大掃除の際、さきに紛失の報告をした、説明銅板(大2,小2)が机と壁にはさまれて出て来た。従つて 管理不行届のお叱りは甘んじます。No.11上に発表しました紛失に関する紙上始末書(イ)はこゝに取消します。